

清瀬市立清瀬中学校



学校だより

令和7年度7月号

令和7年7月14日

校長 小澤 秋仁

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>



一学期の終わりに

副校長 神 美帆

連日、厳しい暑さが続いています。体調は崩していませんか。けやき通り沿いの畑では、ひまわりが咲き始めました。太陽がまぶしい季節にぴったりの花ですね。見るたびに元気をもらえるような気がします。

けやき通りは、春には桜、初夏には新緑のケヤキ、梅雨の頃には紫陽花など、季節ごとの風景を見せてくれます。通学路での自然の移ろいを感じられるのは、清瀬の素敵なところですね。

さて、ここでひとつクイズです。清瀬市の「市の花」は何でしょうか。ひまわりを思い浮かべる人が多いかもしれませんが、実は「サザンカ」。冬に咲く花なのです。正解しましたか？ 私自身、大人になっても「まだまだ知らないことがたくさんあるな」と感じるばかりです。

皆さんは一学期、どんなことを身に付けましたか？

学校は、知識を深める場所であり、友人関係を築く場所であり、そして小さな社会でもあります。

定期考査も終わりましたが、そもそも定期考査はなぜあるのでしょうか。

定期考査は「学んだことが自分の力になっているか」を確認する大切な機会。中学生だった頃の私は、試験勉強に苦しみ、「試験なんてなければいいのに」と何度も思ったものです。でも、あの時に苦しさに向き合った経験が、今の自分を支える原動力になっていると感じています。

試験を作る立場になった今では、「受ける側が楽だったかも」と思うこともあります。人間は誰でも「楽をしたい」「面倒なことから逃げたい」と思うもの。でも、自分の気持ちとどう向き合うかが、自分の生き方につながっていくのではないのでしょうか。

皆さんは、何でも吸収できる柔らかい心を持っている時期です。これからの人生を豊かにする「土台づくり」をしている最中。周囲には、応援してくれる人がたくさんいます。何事にも前向きに取り組むことで、思いがけない手助けが得られることもあります。

この夏、ぜひ新しいことに挑戦してみてください。

さらなる飛躍につながるような、有意義な夏になりますように。



修学旅行 福井市森田中 対面交流

7月2日から4日まで北陸方面に、3年生が修学旅行に行っていました。初日は、森田中学校で対面にて交流を行いました。グループエンカウンターで距離を



縮め、学校紹介クイズでお互いを知りました。借り人競争では、お題に対して条件に合致する人を相手校から探してくるというゲーム。校歌を披露しあい、結びは写真撮影に。森田中の温かい歓迎に、仲間となり「絶対に連絡するから」という声が飛び交いました。



小笠原村立母島中学校との交流

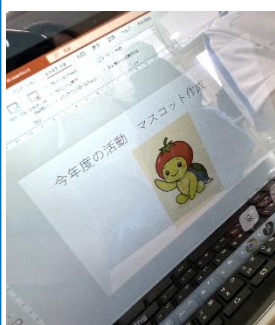
今年度は、母島と生徒会交流を行いました。昨年の

八丈島に続く島しょとの交流です。清瀬とは環境の異なる場所において



生活する中学生と交流し、清瀬との違いを学びます。母島は、東京港より「おがさわら丸」で24時間かけて父島に。父島からは「はじ丸」で2時間の船旅で

到着します。マリン&フィールド部という、自然環境を存分に活かした部活動があるあること、運動会など小中合同で行う行事があること、昼食は、自宅に帰って食べてよいことなどなど、清瀬中とは異なる活動に



驚いていました。内容は生徒集会にて全校で共有します。

キヨリンピック “ボッチャ”

今年度初めての“キヨリンピック”が開催されました。パラリンピックでは正式種目です。スローイングの正確性が試される競技です。自ボールをいかにジャックボールへ近づけるかを競うので、先を読まねばならない競技です。脳も汗をかきます!!



七夕メニュー

本校では食育に力を入れております。7月7日は七夕。この日は無病息災を願い素麺を食べます。中国の素餅(さくべい)に由来するようです。給食では素麺に星形のかまぼこが入り、デザートは夜空に見立てたグレープゼリー。星形のナタデココが浮かびます。写真の右上にうっすらと見えます。願いは叶いますか?



C・S 委員会 学校支援本部 避難訓練

C・S委員会、学校支援本部のご協力のもとで、「不審者侵入の際の対応」について、教室内のバリケードづくりの訓練を行いました。支援本部のご紹介により、格闘家の大黒力斗さんに不審者の役を演じていただきました。不審者役を教員が行うと、知っている顔であるがゆえに、緊迫感が出ません。切羽詰まった状況で判断し行動に移すことを経験することで訓練になります。この後、護身術をひろめているとのことで、教員が簡単につかえる護身術とさすまたの使用方法を学びました。

